

江戸メシ

2025年1月5日（日）～1月26日（日）



江戸時代は日本において食文化が大きく発展した時代です。寿司や蕎麦、天ぷらなどのファストフードが人気を博し、味噌や酢、醤油といった調味料も広く流通するようになりました。人々は自宅で気ままに食事を楽しむだけでなく、料亭や屋台で外食して舌鼓を打っていたのです。

庶民たちの暮らしを題材とする浮世絵では、さまざまな料理や食材、あるいは食事の様子などが数多く描かれています。本展覧会では、北斎や広重、国芳といった人気絵師たちをはじめとする約90点の浮世絵を通して、現代の食文化にもつながっている「江戸メシ」の魅力を紹介いたします。

見どころ① 寿司、蕎麦、天ぷら ー浮世絵で味わう江戸

現代でも人気の高い和食である寿司、蕎麦、天ぷら。そのルーツは江戸時代にあり、庶民たちが手軽に楽しむことのできるファストフードとして人気が広がりました。さまざまな料理はもちろん、食材や調味料など、多彩な江戸メシを紹介します。

見どころ② 北斎、広重、国芳 ー人気絵師たちが描いた江戸メシ

北斎や広重は風景画、国芳は武者絵や戯画が有名ですが、実は江戸っ子たちの暮らしを描くことも得意としていました。北斎、広重、国芳の有名な代表作とは一味異なる、多彩な江戸メシの描き方にご注目ください。

見どころ③ 料亭、屋台、家 ーさまざまな場で楽しむ江戸メシ

江戸っ子たちは自分で料理をすることはもちろん、近所の店で惣菜を買ったり、屋台で気軽に食事を楽しんだりしました。また立派な店構えの料亭で宴会を行ったりもしています。さまざまな場で楽しんでいた江戸メシの食事風景を紹介します。

寿司



(1) 歌川国芳「綺揃女弁慶 松の鮓」

蕎麦



(2) 歌川国芳「木曾街道六十九次之内 守山 達磨大師」

蕎麦



(3) 四代歌川国政「志ん板猫のそばや」

天ぷら



(4) 月岡芳年「風俗三十二相 むまさう 嘉永年間女郎之風俗」

魚



(5) 歌川広重「鯛 鯉 鯉」

とろろ汁



(6) 葛飾北斎「東海道 蕎麦子」

海苔の採取



(7) 歌川国芳「東都名所 大森」

料亭の八百善



(8) 歌川広重「江戸高名会亭尽 山谷 八百善」

屋台



(9) 歌川広重「東都名所 高輪廿六夜待遊興之図」

鯉売り



(10) 歌川豊国「豊広豊国 両画十二候 四月 三枚続」

家で西瓜



(11) 歌川国貞「十二月ノ内 水無月 土用干」

タイトル 江戸メシ

英タイトル Edo Gourmet Dishes

会 期 2025年1月5日(日)～1月26日(日)

開館時間 午前10時30分～午後5時30分(入館5時まで)

休館日 月曜日(1/13は開館)、1/14

入館料 一般1000円 大高生700円 中学生以下無料

アクセス JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分

東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

問合せ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

公式サイト <https://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

公式X(旧Twitter) @ukiyoeota

会場・主催 太田記念美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10

TEL 03-3403-0880 FAX 03-3470-5994

E-mail om@ukiyoe-ota-muse.jp

展示担当: 日野原健司 広報担当: 金塚さくら



太田記念美術館
公式サイト



画像申請・取材
の申込はこちら